

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 7 月 3 日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100708
法人名	医療法人 秀愛会
事業所名	グループホーム 清滝
所在地	鹿児島県鹿児島市西千石町13番30号 (電話) 099-213-9950
自己評価作成日	平成25年5月31日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年6月29日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鹿児島市の中心に位置し、交通の便にも恵まれています。木市やおはら祭りなども徒歩で見学に行ける距離であり、外出などしやすい環境です。行事など通所介護事業所との交流を行っています。病院が併設であり、定期の受診や、緊急時に対応ができ安心して生活ができます。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当ホームは、医療法人の運営する介護事業グループの一つで、デイサービスやヘルパーステーション等の高齢者複合施設を含み、日常的に他の福祉施設との交流がある。周囲には、小学校や公民館・市場・公園などがあり、公共の交通機関の便も良い。散歩や買い物に外出しやすい環境で、地域住民ともふれあいつながりながら生活している。

・母体医療機関が隣接し、機能訓練や緊急時の対応・看取りなどの医療連携体制が取れている。

・災害対策として定期的に避難訓練を実施し、エレベーター以外の避難通路での訓練等も実施する等、安全対策の整備がされている。

・代表者や管理者は職員を各種研修へ奨励し、今回の介護福祉士試験で多数の合格者を出している。職員は、ケア対応等の更なる質の向上を目指して研鑽している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を掲示し、共有する事で少しずつではあるが実践できるように努力しており、管理者・職員間の交流の時間も多く、理念の為の会話の機会はある。	ホーム独自の理念を作成し、施設内に掲示し、朝の申し送りや職員会議で話し合っている。ケアの中で絶えず理念を確認し振り返りを行い、共有と実践を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域内の小学校の行事に参加させて頂いたり、施設内での行事レクなどに外部の方（ボランティア）に来て頂いて交流の場を設けている。	町内会に加入し、地域のサロンや小学校行事・おはら祭り等に出かけている。高校生の職場体験やボランティアの受け入れなども行っている。散歩の時など地域住民と懇談し交流を楽しんでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献	認知症サポーターの目印であるオレンジリングを着用することで、外部へのサポートアピールができています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に行われている。運営推進会議の中で報告や話し合いがもたれ、他のグループホームの方にも参加して頂き、意見を交換しあいサービス向上に生かされていると思う。	会議は家族代表や地域包括支援センター職員・町内会長・民生委員等の参加を得て、定期的に開催している。利用者や事業所の状況、外部評価の報告を行っている。現在取り組んでいるケアの課題についても意見を交換し、サービス改善につなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>必要な連絡・報告を行うことで連携を取り入れるよう努めている。事故に対しての報告、連絡を行いながら、お互いに情報共有している。</p>	<p>市の担当者とは、利用者の暮らし方やケアサービスの報告を行い、アドバイスを受けていたりしている。市主催の研修会などに、積極的に参加し、日頃から連携を取り、協力関係ができている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束についての資料を掲示しており、年間の勉強会内容にも取り入れ理解を深めている。</p>	<p>身体拘束をしないケアについてマニュアルを基本に、毎月の職員会議で勉強会を実施している。見守りの重要性を全職員が理解し、昼間の玄関は施錠せずに、職員間の連携で自由な暮らしを支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待についての勉強会を行い、資料を掲示しており、虐待に繋がらぬようスタッフストレスの緩和、共感をし、又虐待と感ずる事がないか利用者様への会話等をするようにしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>地域ケア会議に参加し成年後見制度の勉強会に参加している。今後職員内での勉強会等に取り入れ活用できるように考えている。また、責任者会議に参加し、グループホームの意見を言うようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約、解約の際は十分な説明を行い利用者、ご家族様からの要望がないかお聞きし同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議や面会時に、ご家族様より意見や要望等ある時はいつでもお聞きし、検討するようにしている。また、手紙での利用者様の状況報告を行っている。今後は家族会なども取り入れていきたい。</p>	<p>利用者からは、日頃から何でも話してもらえる雰囲気作りに留意している。家族からは運営推進会議や面会の機会に、家族へ声かけして意見や要望等を聴取している。家族の面会も多く家族同士で顔見知りになり懇談している。出された意見等は、職員で話し合い、運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議の場や日頃でも意見提案できる機会を設け、反映できるように努めている。</p>	<p>管理者は職員会議や随時の個別面談などで日頃からコミュニケーションを図り、意見や提案を聞くように心がけている。資格取得の希望についても支援している。また責任者会議等で代表者にも職員の提案や要望が素早く届き、運営に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職場の環境はとても良く、働きやすいと思うが、条件の整備の実現はなかなか難しいように思う。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の日頃のケアを始め、意見交換する場を設け、ケアの実際と力量を把握するように努めている。また法人内外の研修についても参加できる環境を作っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修の受け入れ体制を充実させ、学べる環境づくりに努めている。また他の事業所の方に運営推進会議に参加して頂き、意見交換や情報共有できる場を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様、ご家族様とコミュニケーションを取りながら、声掛けや環境づくりをし、安心して頂ける環境作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用を開始するにあたり、ご家族様の気持ちなど共有差させていただき、一緒にご本人様が安心して過ごせる環境作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	提案させて頂いたり、ご家族様とも話し合い等行い、サービス対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	コミュニケーションを大事にしながら、声掛け、傾聴に努めている。面会の際もご利用者様の状態報告など行い、職員とご家族様の関わりが多くもてるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様だけでなく、ご家族様ともコミュニケーションと取りながら連携をとりあえる環境づくりにや関係が継続できるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会者の受け入れや私物の持ち込みも歓迎できている。	行きつけの理美容院やスーパーマーケット・馴染みの店へ買い物など、関係を継続できるように支援している。親族や友人の訪問があり、丁寧に応接している。家族の協力を得て、寺の参詣や墓参などにも出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	声掛け等行い、支援に努めている。また全体でイベントを行い、一緒に活動ができるように声かけできている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後の来訪も歓迎し、支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様の意向やご家族様からの情報収集などから把握するよう努めている。	日々の関わりの中で、会話などから推測したり、表情から思いや意向の把握に努めている。意思疎通が困難な場合は、家族や関係者からの情報を得ながら、記録簿の状況を職員で共有し本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様の生活歴や病歴など情報共有し、記録に目を通したりして、把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人様の1人の時間の活動の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議後に各階のカンファレンスを行い、話し合いの場を持ち、日頃からの意見交換や情報共有にて介護計画に取り入れている。	本人や家族その他必要な関係者から話しを聞き、介護計画を作成している。モニタリングやカンファレンスは、6ヶ月毎に実施している。状況が変化したときは現状に即した介護計画をその都度作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	経過記録以外にも、申し送り等で情報共有に努めており、プランの見直しにも反映できるように生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	取り組む努力をしているが、もう少し支援やサービスに関して勉強する必要がある。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を文えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	まだ十分に発揮しているとは言えないが、安心、安全で豊かなその方らしい暮らしを楽しんでいただけるよう支援していきたい。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的を受診を行い、適切な医療を受けられるよう支援している。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。眼科・歯科・皮膚科等の受診ができるように複数の医療機関と協力関係を密に結んでいる。定期的に母体医療機関の看護師が訪問し、利用者の心身の状況について支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週に1度の訪問看護や定期受診にて、利用者様が適切な医療を受けられるよう支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	サマリーなどに目を通すなどして、情報交換し、関係づくりに努力している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	事業所での可能な部分を説明し、終末での希望を受け入れ、サービス支援に反映できている。	入居時に重度化や終末期に伴う対応の指針を、本人や家族に説明し、同意書をもっている。また、状況変化に従って家族の意向を踏まえ、繰り返し話し合い、意思を確認している。職員全員がその方針を共有し、安心して最後が迎えられるよう支援している。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	定期的な訓練、マニュアルの確認をし、対応の仕方、及び実践力についても身につけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策マニュアルの定期的な見直しや避難訓練、防火訓練等を行い身につけている。また非常食を1日分用意している。また、地域との訓練、消防への協力を依頼している。	年2回消防署の指導のもと、昼夜間想定した避難訓練で、エレベーターでなく、非常用階段を利用して実施している。スプリンクラーや火災報知器等の設置もされている。災害時の水や食料等の備蓄はある。地域住民との協力体制については検討が進んでいる。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用様の意向はもちろん、ご家族様からのご意見、情報などからも把握するよう努力している。	利用者の人格を尊重するとともに、プライバシーを保持する為、言葉かけやさりげないケアを心がけている。情報収集にも細心の注意を払っている。職員の採用時、個人情報保護についての誓約書もとっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様の意思決定を尊重するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度の1日の流れはあるが、利用者様本位で過ごしていただけるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服装の選択やお化粧をされる方には声掛けしたり、提供したりし、支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立の希望を伺ったり、食事メニューのお知らせや声掛けを行い、出来る範囲での手伝い等、一緒に行い、食事も彩りを考え食事づくりをし、声掛けをして楽しく食事ができるように努力している。	食事では、嗜好調査や会話の中から、利用者の好みを把握し、献立を提供している。可能な範囲で、準備や配膳・後片づけを職員と一緒にしている。誕生会や行事食など、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分制限や減塩、糖尿病の方への食事等工夫を行って提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア声掛け、義歯洗浄をし、チェックリストを作っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間・量・間隔を記録し、本人様が自然排便しやすくなるよう、その日の状態にあわせた声掛け、誘導を行っている。	個々の排泄パターンを把握し、動作や表情等、些細な情報を職員全員で共有し、自尊心に配慮しながら、トイレでの排泄を大切にしている。日中は布パンツとパットを使用している。また、自家製ヨーグルトを日常的に提供して自然排便に活用している。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分、繊維物の摂取を促しメニューを組み、主治医との連携にて自然排便困難な方へ下剤にて調整も行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	希望時間を伺う等、本人様の希望をかなえられる様努めている。	入浴は週3回となっているが、利用者の希望に添った入浴ができるように支援している。入浴を拒む人にも、職員間で連携し、職員の交代で声かけや状況改善に努めながら入浴支援を行っている。脱衣所は空調設備が完備されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	定期的な夜間の巡視をし、本人 様の状態に合わせて声掛け等行 いながら支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている	薬についての理解、服薬確認、 症状の変化の確認に主治医、看 護と連携しながら状態把握に努 めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活暦 や力を活かした役割、嗜好品、楽 しみごと、気分転換等の支援をし ている	日々の状態を観察しながら声掛 け等行い、支援に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるように支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。	定期的に外出や外食の機会を設 けているが、利用者様個々の希 望に沿った外出への取り組みが 今後の課題であると感じる。	日常的には、散歩や買い物・木 市・公園など、一人ひとりの楽 しみごとに合わせて戸外に出か けている。年間計画を立てて、 花見やソーメン流しなど、家族 も一緒に出かけ外食や外泊の支 援もしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援し ている	保管はしているが、外出時の買 い物等は見守りながら支援して いる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人様からの希望に応じて、対応できるように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	花を飾ったり、季節ごとの行事の貼り出しを行い清潔を保ちながら、利用者様にとっての心地よい環境づくりができるよう支援している。	共用の空間は、窓から街の風景が見え、換気や採光が配慮され開放的で明るい。入り口には季節を感じさせる工夫がしてあり、利用者と職員が一緒に作った手作りの作品が飾ってある。清掃が行き届き清潔で、居心地よく過ごせるように工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールでの座席で談話できるようにしたり、共有空間は自由に使っていただけるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族様とも相談しながら工夫してたり、本人様の身体状況、希望に添えるよう支援している。</p>	<p>居室には、テレビや写真・色紙など本人の好みの物が飾られている。それぞれの使い慣れた品物が持ち込まれている。いつでも外出できるように洋服がハンガーにかけられ、安心して過ごせるように工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ご本人様の状態を把握しながら工夫し、個々の能力の把握が支援につながるよう努めている。</p>	/	/



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない